

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大	事業	051	社会教育事業	中	事業	01	社会教育事務事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規					
関連計画・マニュアル					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 社会教育法に基づき、社会教育委員は、社会教育行政全般について、調査及び審議を通して答申・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に置くことで、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、地域の活性化を図る。

【事業の概要】
 社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営

- 報酬 社会教育委員15名 510千円
- 賃金 社会教育指導員賃金5名 8,993千円
- 旅費 122千円
- 需用費 35千円
 - 事務用消耗品費 9千円
 - 食糧費 4千円
 - 印刷製本費 22千円
- 委託料 講演会業務委託 (株)パケット・デズ 734千円
- 負担金 71千円
 - 県社会教育委員連絡協議会負担金 39千円
 - 東海北陸社会教育研究大会負担金 6千円
 - 県社会教育研究集会参加負担金 11千円
 - 県社会教育連絡協議会会費 15千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト (単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	1,472	1,599	1,615	△ 127
	人件費	3,538	2,672	3,810	866
	総事業費	5,010	4,271	5,425	739
人員	正職員	0.44 人	0.15 人	0.40 人	0.29 人
	臨時職員	0.25 人	0.65 人	0.50 人	△ 0.40 人
	人員計	0.69 人	0.80 人	0.90 人	△ 0.11 人
財源内訳	国県支出金	216	216	216	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,794	4,055	5,209	739

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	生涯学習・スポーツ報告書作成	目標		1	1	1	1	1
		実績				1	1	1
		達成率(%)		0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		報告書作成回数						
指標		目標						
		実績						
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標		目標						
		実績						
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標		目標						
		実績						
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	一年間の事業の総まとめとして報告書を作成し、行ってきた事業を検証することにより次年度事業のより良い取り組みにつなげています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			生涯学習事業では参加者も増加傾向にあります。講演会では講師選定でニーズの高い講師を選び参加者の増につながっています。生涯学習事業をよりよくするために社会教育委員の会議の活用方策を考えます。
これまでの見直しや改善等の実績	生涯学習講演会について市民ニーズにあった講師を依頼し聴講者が増加しています。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	社会教育事務全体を見直し、さらに効率の良い事業の推進に努めます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名(小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大	事業	051	社会教育事業	中	事業	06	社会教育団体補助事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、生涯学習課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
補助金の交付により社会教育団体の育成と活動の促進を図る。	
【事業の概要】	
○負担金	50千円
PTA東海北陸ブロック研究大会福井県大会	50千円
○補助金	1,810千円
坂井市PTA連合会事業補助金	250千円
青少年育成団体運営補助金	210千円
・ボーイスカウト第5団	70千円
・ガールスカウト第17団	70千円
・ガールスカウト第20団	70千円
坂井市かるた協会事業補助金	350千円
坂井市女性の会運営補助金	1,000千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	1,860	1,810	1,910	50
	人件費	1,958	671	1,066	1,287
	総事業費	3,818	2,481	2,976	1,337
人員	正職員	0.16 人	0.10 人	0.15 人	0.06 人
	臨時職員	0.46 人	0.00 人	0.00 人	0.46 人
	人員計	0.62 人	0.10 人	0.15 人	0.52 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	3,818	2,481	2,976	1,337

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	事業費補助率 ※実績報告書受領後に算出	目標		33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
		実績				30	25.7	24.6
		達成率(%)		0.0	0.0	88.6	77.18	73.87
指標の説明								
指標	1人当たり自己負担金	目標		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績				9,871	11,873	14,883
		達成率(%)		0.0	0.0	98.7	118.73	148.83
指標の説明								
指標		目標						
		実績						
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標		目標						
		実績						
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	どちらの指標も6団体の平均値として目標に達していますが、各々としてはかなりの差異があります。個々の団体としても目標値に近づけるように取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	団体の活動内容等にもよりますが、補助率だけでなく上限を決めているため、事業費・会員数が多い団体は、補助率が著しく低くなります。公平性からの点でも改善が必要だと思われます。
これまでの見直しや改善等の実績	H29年度まで見直しを行いました。	

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	
目標年度		目標年度	
方向性の説明	補助金見直しを行ったので、補助金に見合うよう活動内容の充実を図るようにします。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
実施事業名(小事業)	基本施策			
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	151	市民運動推進事業			中事業	01	市民運動推進事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。

【事業の概要】

○負担金 416千円

坂井市民運動推進協議会負担金	220千円
あすの福井県を創る協会負担金	196千円

第12回坂井市花壇コンクール

審査日 9月25日（月）三国地区・丸岡地区
9月26日（火）春江地区・広域 9月27日（水）坂井地区

場 所 市内の花壇

参加数 67地区団体

坂井市ふるさとづくり大会

期 日 12月3日（日）

場 所 みくに市民センター みくに未来ホール

内 容 坂井市市民運動実践者表彰
生涯学習講座

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	416	399	399	17
	人件費	1,517	2,001	2,558	△ 484
	総事業費	1,933	2,400	2,957	△ 467
人員	正職員	0.11 人	0.05 人	0.10 人	0.06 人
	臨時職員	0.41 人	0.65 人	0.90 人	△ 0.24 人
	人員計	0.52 人	0.70 人	1.00 人	△ 0.18 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,933	2,400	2,957	△ 467

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	ふるさとづくり大会参加者数	人	目標	300	300	300	300	300
			実績			229	398	398
			達成率(%)	0.0	0.0	76.3	132.7	132.7
指標	指標の説明 参加人数							
指標	市民運動被表彰者数	人	目標	15	15	15	15	15
			実績			11	17	7
			達成率(%)	0.0	0.0	73.3	113.3	46.7
指標	指標の説明 表彰者の個人・団体数（団体は1人と算出する）							
指標	花壇コンクール参加団体数	団体	目標	65	65	65	65	65
			実績			67	67	47
			達成率(%)	0.0	0.0	103.1	103.1	72.3
指標	指標の説明 コンクール申込団体数							
指標	花の種配布地区団体数		目標	170	170	170	170	170
			実績			110	104	120
			達成率(%)	0.0	0.0	64.7	61.2	70.6
指標	指標の説明 花の種を配布した団体数							
指標に基づく評価	大会参加者や、花壇コンクール参加団体が増えています。事業の内容の検討や周知の徹底などが増加へとつながったと考えます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			今後も市民運動などについて、さらに周知するなど事業推進に努めます。
これまでの見直しや改善等の実績	平成30年の国体の花いっぱい運動にあわせ、生育期間を調整するため花壇コンクールの審査を8月から9月へ1か月遅らせています。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	各事業において、参加者の増加となるよう事業内容の見直し等を行います。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費
大	事業	001	国際交流推進事業	中	事業	01	国際交流推進事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	8-2	国際交流・地域交流の推進		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-2	Uターン等の促進		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 市内中学校の生徒を英国に派遣するとともに、英国生徒を坂井市に招へいし、ホームステイや授業参加を通して、国際化時代に対応できる人材を育成する。
 また、新たに中学1年生を対象とする英国派遣団の事前研修への体験参加を通し、本事業の活動について理解を深める。

【事業の概要】

〈招へい期間〉平成29年6月28日(水)～7月6日(木) 9日間
 〈招へい人数〉生徒 25人(男子13人、女子12人) 引率者 6人
 (カントニアンハイスクールおよびブルスマウルコンプリヘンシブスクール)

〈派遣期間〉平成30年3月8日(木)～17日(土) 10日間
 〈派遣先〉英国ウェールズ カーディフ市
 (バース、オックスフォードおよびロンドン)
 〈派遣人数〉生徒27人(男子10人、女子17人) 引率者5人
 (市内在住で市内中学校の2年生に在学する生徒)

- 英国派遣団事前研修体験参加

〈参加人数〉市内中学校の1年生27名(男子12人、女子15人)

○報償費 178千円
 ○旅費 183千円
 ○需用費 525千円
 ○役務費 3千円
 ○委託料 11,120千円
 ○使用料及び賃借料 58千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■国際交流 (英国派遣)
----------	--------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	12,067	9,738	11,281	2,329
	人件費	7,098	8,392	9,953	△1,294
	総事業費	19,165	18,130	21,234	1,035
人員	正職員	1.00 人	1.25 人	1.40 人	△0.25 人
	臨時職員	0.05 人	0.00 人	0.00 人	0.05 人
	人員計	1.05 人	1.25 人	1.40 人	△0.20 人
財源内訳	国県支出金	2,142	1,516	0	626
	その他特定財源	5,800	5,000	5,000	800
	一般財源	11,223	11,614	16,234	△391

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	受入れ家庭の満足度 (招へい)	%	目標	100	100	100		
			実績			90		
		達成率(%)	0.0	0.0	90.0			
指標の説明								
指標 独自指標	参加者の満足度 (派遣)	%	目標	100	100	100	100	100
			実績			103	95	100
		達成率(%)	0.0	0.0	103.0	95.0	100.0	
指標の説明								
指標 独自指標	事前研修の回数	回	目標	10	10	14	14	14
			実績			10	14	14
		達成率(%)	0.0	0.0	71.4	100.0	100.0	
指標の説明		派遣までの事前研修の回数						
指標 独自指標	英国派遣団員への応募者数	%	目標	100	100	100	100	100
			実績			80	99	87
		達成率(%)	0.0	0.0	80.0	99.0	87.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	より多くの市内生徒達に国際交流の機会を提供することで、国際理解教育を一層進めることができました。H29年度招へいは坂井中・三国中での交流で、学校側もより多くの英国生徒を様々な授業に参加させてくれました。派遣事業でも、約半年間の事前研修を通して団員同士の士気を高め、現地でも英国の生徒たちと行動しながら絆を深めました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	市職員が主体となって行う研修というイメージが強く、国際交流担当教諭との連携が図れていない部分があります。生徒指導面等の役割分担等、学校との協力体制に工夫が必要だと考えます。また、招へい時期は梅雨で暑さが厳しく、英国生徒の体調管理も徹底する必要があります。		

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度	平成30年度	目標年度	平成31年度
方向性の説明	英国招へい・派遣の成果をより多くの生徒たちにも実感してもらえるように、今後も学校と連携し事業を進めていきます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進
	基本施策	1	青少年へのふるさと意識の醸成			
実施事業名(小事業)	国際交流推進事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>注) 総合戦略に基づき実施する事業については、中長期的に地方創生に資するノウハウや知見を蓄積することも目的となっています。ノウハウとは、事業の企画・計画→効果・結果の間に得た気づきのことです。人口減少対策や地方創生に向けて、具体的な事業効果と効果を高めるために重要であると気付いたことについて、実施事業ごとに記載願います。</p> <p>●事前研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> 英国派遣団員決定後、約半年間で10回の全体研修および説明会を実施しました。ALTによる英会話研修や、現地での日本文化紹介の発表練習、また宿泊研修などを通して、英語力の向上や訪問先への興味を深めました。市内5中学校の生徒から成る派遣団のため、協調性や団結力を高めるためにも、定期的に全員で実施する研修が必要です。 また、1日研修の際に、英語力を活かして地元で仕事をしている方に講義をしていただきました。身近に英語を使う企業があると知らなかった団員も多く、英語学習に対する意欲の向上や、各自の将来について考える良い機会となり、継続して実施することが重要であると考えます。 					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大	事業	001	青少年健全育成事業	中	事業	01	子ども会育成事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		生涯学習課所管補助金等交付要綱、坂井市子ども会育成会連絡協議会会則		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を行う。

【事業の概要】

○負担金 154千円
 福井県子ども会育成連合会負担金 64千円
 坂井地区子ども会育成連絡協議会負担金 90千円

○補助金 1,984千円
 坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金

ジュニアリーダー活動日数（重複含む）

	平成29年度
依頼	58日
例会	101日
自主企画	6日
研修	5日
合計	170日

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	2,138	2,138	2,138	0
	人件費	5,167	3,533	1,627	1,634
	総事業費	7,305	5,671	3,765	1,634
人員	正職員	0.47 人	0.45 人	0.20 人	0.02 人
	臨時職員	1.03 人	0.20 人	0.10 人	0.83 人
	人員計	1.50 人	0.65 人	0.30 人	0.85 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	7,305	5,671	3,765	1,634

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	子ども会安全共済会加入率	%	目標			62.0	62.0	62.0
			実績			63.5	52.0	52.3
			達成率(%)	0.0	0.0	102.4	83.9	84.4
指標の説明		市内児童のうち子ども会安全共済会加入者の割合						
指標	育成者研修会参加者数	人	目標			260	280	280
			実績			224	203	230
			達成率(%)	0.0	0.0	86.2	72.5	82.1
指標の説明		各町ごとの育成者研修会の参加者数の合計						
指標	壁新聞コンクール出品数	点	目標			120	160	160
			実績			93	86	87
			達成率(%)	0.0	0.0	77.5	53.8	54.4
指標の説明		坂井市壁新聞コンクールへの出品数						
指標	専門部会の開催数	回	目標			5	4	4
			実績			6	5	2
			達成率(%)	0.0	0.0	120.0	125.0	50.0
指標の説明		総務広報部会、育成指導部会、組織運営部会の開催回数						
指標に基づく評価		壁新聞コンクール出品数は児童数の減少に伴い例年減少傾向にあります。前年度より参加者数が増加した育成者研修会において周知をはかったことで安全共済会の加入率は増加しています。また、専門部会の開催数も微増し、市子ども会の事業に関する協議も活発化しています。今後も専門部会の充実を図り、よりよい子ども会活動を推進していくことが重要であると考え						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	子ども会の役員が主体となって事業運営を行うことが理想的ですが、役員は基本的に1年任期であるため、事務局である市が主体とならざるを得ない現状です。		
	会長職をはじめとする役員数名に次年度も継続して事業運営に携わっていただいている。平成28年度には、役員経験者を中心に組織運営部会を立ち上げ、今後の方向性について協議を行っている。また、行政の立場から子ども会を補助することは、青少年の健全育成につながるため、妥当であると考えます。子ども対象のイベントを実施する他団体と連携しながら活動を行うことで、子どもたちの負担にならない形でより楽しめる活動を提供できていると思われまます。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成33年度	
方向性の説明	子ども会の育成者のほか、指導者となるジュニアリーダー・シニアリーダーの育成に努め、学校、子ども会、まちづくり団体、社会教育団体等から活動依頼に応える中で、特に子ども会との連携を強化し、子ども会活動の発展に努めます。専門部会を活発化させ、今後も子どもたちが取り組みやすい内容を中心に子ども会活動の活性化に努めていきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大	事業	001	青少年健全育成事業	中	事業	06	成人式事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-2	Uターンの促進		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 新成人の門出を祝福するとともに、一人ひとりが成人したことを自覚し、これから社会の中で自主的・協力的に行動するよう激励する。

【事業の概要】
 <期 日> 平成30年1月7日(日) 午後1時30分～
 <会 場> ハートピア春江
 <対象者> 新成人1,109人
 <参加者> 新成人876名 (男性444人、女性432人 出席率78.99%)

○報償費		874千円
	成人式実行委員等謝礼 (16名)	80千円
	成人式協力者謝礼	30千円
	記念品等 (アルバム)	764千円
○需用費		165千円
	消耗品費	81千円
	食糧費	38千円
	印刷製本費	46千円
○役務費	通信運搬費	186千円
○使用料及び賃借料	会場使用料	134千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■成人式
----------	------

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	1,359	1,323	1,297	36
	人件費	5,222	3,475	5,779	1,747
	総事業費	6,581	4,798	7,076	1,783
人員	正職員	0.74 人	0.50 人	0.81 人	0.24 人
	臨時職員	0.02 人	0.05 人	0.01 人	△ 0.03 人
	人員計	0.76 人	0.55 人	0.82 人	0.21 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	6,581	4,798	7,076	1,783

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	式典参加率	%	目標	85	85	85	85	85
			実績			80	81	82
			達成率(%)	0.0	0.0	94.0	95.2	96.0
指標の説明		式典参加率						
指標	実行委員数	人	目標	16	16	16	16	16
			実績			16	13	16
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	81.3	100.0
指標の説明		実行委員数						
指標	ホームページ・広報掲載回数	回	目標	6	6	6	6	6
			実績			6	6	6
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		ホームページ・広報掲載回数						
指標	ボランティア参加者数	人	目標	12	12	12	12	12
			実績			9	8	9
			達成率(%)	0.0	0.0	75.0	66.7	75.0
指標の説明		ボランティア参加者数						
指標に基づく評価		本年も実行委員会方式で行い、委員会では委員たちが自由に意見を出し合っ て準備を進めることができた。メディアの取材も多く受け、本年独自の成人 式を造ることができました。						

5.事業に対する評価

現状と課題	<table border="1"> <tr> <td>効率性に課題</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>新成人で構成する実行委員会方式も、準備が捗らなかったため、実行委員会の開催を後半週2回に増した経緯がありました。今後も、全員に実行委員としての自覚を強く持ってもらうことで、積極性・自主性を養う場を造っていきます。</p>	効率性に課題		
効率性に課題				
これまでの見直しや改善等の実績				

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度	平成31年度	目標年度	平成32年度
方向性の説明	現状の実行委員方式が妥当だと考えます。成人となる自覚を持ち、積極性・自主性を高める式典として継続していきます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	<table border="1"> <tr> <td>政策パッケージ</td> <td>1</td> <td>移住・定住の促進</td> <td>施策</td> <td>1-2</td> <td>Uターンの促進</td> </tr> <tr> <td>基本施策</td> <td>1</td> <td>青少年へのふるさと意識の醸成</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進	基本施策	1	青少年へのふるさと意識の醸成			
政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進								
基本施策	1	青少年へのふるさと意識の醸成											
実施事業名(小事業)	成人式事業												
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>注) 総合戦略に基づき実施する事業については、中長期的に地方創生に資するノウハウや知見を蓄積することも目的となっています。ノウハウとは、事業の企画・計画→効果・結果の間に得た気づきのことです。人口減少対策や地方創生に向けて、具体的な事業効果と効果を高めるために重要であると気付いたことについて、実施事業ごとに記載願います。</p> <p>【実行委員会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会については。実行委員に自覚を強く持ってもらうことで、積極性・自主性を積極性・自主性を養う場を造っていきます。 ・新成人で構成する実行委員会での準備が捗らなかったため実行委員会の開催を後半週2回に増したことから、会議での時間を短縮して制作等に時間を割けるようになる必要があると感じました。 <p>【当日について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付について、4つから5つ(坂井・春江・三国・丸岡・丸岡南)にわけたことで、受付待ちの長い列(28年度)は改善されたと思います。 												

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	11	わんぱく少年団事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-2	Uターンの促進			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		坂井市青少年自然体験活動事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 自然の中で行う様々な体験を通じて、仲間との協力の大切さを学ぶとともに自立心の向上を図り、人との関わりや今後の人生をより豊かに過ごせるような積極性を身につけることを目的とする。

【事業の概要】

<名称> 「2017 SAKAIわんぱく少年団」
 <対象者> 坂井市内小学校5・6年生21人
 <実施期間> 学校週休日・夏休み(5月～3月)
 <実施回数> 13回
 <実施内容> 結団式、磯観察会、古代人体験、サマーキャンプ
 だるま遊園地、ウォークラリー、ジュニアリーダー企画
 トレッキング、ハロウィン体験、ディスクゴルフ
 スノードームづくり、ウインターキャンプ、修了式

○報償費 協力者謝礼(トレッキング講師) 30千円
 ○需用費 263千円
 消耗品費 65千円
 食糧費 198千円
 ○役務費 傷害保険料 17千円
 ○使用料 106千円
 施設使用料 51千円
 体験学習使用料 55千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■わんぱく少年団
----------	----------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	416	318	322	98
	人件費	4,695	4,363	0	332
	総事業費	5,111	4,681	322	430
人員	正職員	0.67 人	0.65 人	0.00 人	0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.67 人	0.65 人	0.00 人	0.02 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	63	81	81	△ 18
	一般財源	5,048	4,600	241	448

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	参加者の満足度		目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績			100.0	95.7	100.0
			達成率(%)	0.0	0.0	100.00	95.70	100.00
指標の説明								
指標	募集定員(30人)に対する申込者数の割合		目標	30	30	30	30	30
			実績			21	23	27
			達成率(%)	0.0	0.0	70.00	76.67	90.00
指標の説明								
指標	1回あたりの参加団員数の割合		目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績			76.3	81.4	88.5
			達成率(%)	0.0	0.0	84.74	90.44	98.33
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	申込者数が年々減少しており、出席率も徐々に微減しています。これは、活動の魅力が失われているという可能性も否定できないものの、子どもの多忙化が最大の要因と考えられます。また参加者の満足度は回復しており、活動の魅力が失われたとは考えにくいです。今後は、土日以外の実施も検討していく必要があると考えます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	<table border="1"> <tr> <td>妥当性に課題</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>団員は年度当初に市内の小学5・6年生を対象に募集し、30名程度の団員で1年間の活動をしています。そのため、特定の個人に受益が偏ることが考えられます。</p>	妥当性に課題		
妥当性に課題				
これまでの見直しや改善等の実績	<p>活動内容や規模を鑑みると小学4年生以下を対象にすることは難しく、また、活動毎に団員を募集するのでは継続性、発展性を図ることが難しいので、特定の個人に受益が偏るものある程度は仕方がない事と思われます。</p>			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度			目標年度	
方向性の説明	<p>自然の中での活動を通じて自ら考えて発信するちからや仲間と積極的に協力するちから等の醸成に努めました。また、市の新たな魅力発見や郷土愛も育むことができたと考えます。子どもの多忙化により、原則土日開催の本活動に参加できない児童が増えており、運営体制も慢性的な人員不足で、年間十数回の活動を職員だけで継続していくのは困難な現状です。今後は活動日や内容の見直し、地元業者（ちくちくぼんぼんなど）の外部講師の活用等、検討して継続していきます。</p>			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	<table border="1"> <tr> <td>政策パッケージ</td> <td>1</td> <td>移住・定住の促進</td> <td>施策</td> <td>1-2</td> <td>Uターンの促進</td> </tr> <tr> <td>基本施策</td> <td>1</td> <td>青少年へのふるさと意識の醸成</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進	基本施策	1	青少年へのふるさと意識の醸成			
政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進								
基本施策	1	青少年へのふるさと意識の醸成											
実施事業名(小事業)	わんぱく少年団												
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>注) 総合戦略に基づき実施する事業については、中長期的に地方創生に資するノウハウや知見を蓄積することも目的となっています。ノウハウとは、事業の企画・計画→効果・結果の間に得た気づきのことです。人口減少対策や地方創生に向けて、具体的な事業効果と効果を高めるために重要であると気付いたことについて、実施事業ごとに記載願います。</p> <p>○郷土への関心を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> キャンプや磯観察会など市内の山や海へ出向き、豊かな自然の中で活動を行いました。郷土を大切にすることを育むことができました。 市内の異なる地域に居住する児童にとって、普段訪れる機会の少ない場所で活動することもあり、郷土の新たな魅力を発見することができました。 <p>○次世代を担う青少年の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動を通して他の学校の児童と積極的にコミュニケーションをとることが多く、地域の垣根を越えた交流をすることができました。 野外での調理や力又一体験など日常では体験できない活動をすることで、自らの可能性を広げ様々な活動に挑戦する意識を養うことができました。 この事業にジュニアリーダーが深く関わることで、ジュニアリーダーズクラブのメンバーの確保にも繋がっています。 												

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大	事業	001	青少年健全育成事業	中	事業	16	青少年育成坂井市民会議事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-3	子育て支援の充実		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	補助金事業 (団体補助)	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 青少年問題のもつ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】
 青少年育成坂井市民会議の主な活動

期 日	事 業 名	場 所
5月22日 (月)	青少年育成坂井市民会議総会	たかむく古城ホール
7月8日 (土)	非行防止一斉キャンペーン	春江アミ、三国イーザ
9月27日 (水)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～29日 (金)	丸岡中学校
10月11日 (水)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～12日 (木)	丸岡南中学校
10月18日 (水)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～19日 (木)	三国中学校
11月11日 (土)	一斉街頭啓発キャンペーン	丸岡ピアゴ、坂井フロント2
12月10日 (日)	坂井市青少年健全育成推進大会	みくに未来ホール
12月10日 (日)	「心の教育講演会」	みくに未来ホール

○需用費 消耗品費 (被服費) 3,456千円

○補助金 青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,126千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■青少年育成坂井市民会議事業
----------	----------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	5,582	3,126	2,126	2,456
	人件費	2,889	3,789	0	△ 900
	総事業費	8,471	6,915	2,126	1,556
人員	正職員	0.35 人	0.45 人	0.00 人	△ 0.10 人
	臨時職員	0.24 人	0.30 人	0.00 人	△ 0.06 人
	人員計	0.59 人	0.75 人	0.00 人	△ 0.16 人
財源内訳	国県支出金	0	1,000	0	△ 1,000
	その他特定財源	3,456	0	0	3,456
	一般財源	5,015	5,915	2,126	△ 900

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	賛助会員	目標	120	120	150	150	276
			実績			78	89	131
			達成率 (%)	0.0	0.0	52.00	59.33	47.46
指標の説明								
指標	独自指標	支部事業数	目標	120	120	120	120	115
			実績			138	139	141
			達成率 (%)	0.0	0.0	115.00	115.83	122.61
指標の説明								
指標	独自指標	青少年健全育成推進大会来場者数	目標	150	150	150	150	200
			実績			107	81	71
			達成率 (%)	0.0	0.0	71.33	54.00	35.50
指標の説明								
指標	独自指標	心の教育講演会来場者数	目標	200	200	200	700	200
			実績			156	800	126
			達成率 (%)	0.0	0.0	78.00	114.29	63.00
指標の説明								
指標に基づく評価	各支部の事業数は一定数を維持していますが、賛助会員数およびそれに伴う賛助金収入の減少は著しいのが現状です。主催の青少年育成推進大会に関しては、来場者数の増加がみられますが、心の教育講演会の来場者数は減少しており、継続して来場者を動員できる内容の充実が必要であると考えます。							

5.事業に対する評価

	効率性に課題	有効性に課題	
現状と課題	市が関わっている団体として、組織体制の形骸化や規約の曖昧さを問う意見をいただく。加えて合併により形成された市民会議への認識は、地域によって異なるという声もある。そのため時間をかけて、規約および支部単位までの組織を見直し、整備する必要がある。また、保護者世代からの認知度を高め、団体の不透明性を改善する必要がある。		
これまでの見直しや改善等の実績	青少年やその保護者世代からの団体認知度を高め、見守り活動への関心を高めるため、見守り隊の制服のデザインを統一した。見守り活動以外の事業として、「心の教育」「命の教育」に力を注ぎ、「青少年の育成」への関心が低い層への協力を目標としています。「坂井市青少年健全育成推進大会」来場者は平成28年度よりも増加し、「心の教育講演会」も幅広い年代の参加者から好意的な意見をいただいている。		

6.今後の方向性

	短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	
目標年度			目標年度	
方向性の説明	各支部との連携を強化するとともに、団体の認知度を上昇させるよう努めて事業に取り組み、今後も継続していきます。また、青少年の健全育成の機運を高めるため、坂井市教育振興基本計画に基づき、主催事業の内容を精査・実施することで、青少年育成事業に対する市民意識の高揚を図っていきます。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-3	子育て支援の充実
	基本施策	8	地域ぐるみの次世代育成の促進			
実施事業名(小事業)	青少年育成坂井市民会議事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	注) 総合戦略に基づき実施する事業については、中長期的に地方創生に資するノウハウや知見を蓄積することも目的となっています。ノウハウとは、事業の企画・計画→効果・結果の間に得た気づきのことです。人口減少対策や地方創生に向けて、具体的な事業効果と効果を高めるために重要であると気付いたことについて、実施事業ごとに記載願います。					
	<p>○見守り活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区ごとにPTA、老人会、学校、警察など関係機関と連携して、子どもたちの登下校時の見守り活動や挨拶運動を行うなど、子どもたちが安心して生活できるよう、ネットワークづくりを進めました。 <p>○心の教育講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年育成に関する講演会の開催等を通して、心と命をいづくしむ子を育てる「心の教育」「命の教育」を促進しています。講演のアンケート結果を見ると、参考になった、子どもたちの実態を知ることができたという意見が多かったです。保護者やそれ以外の層にも青少年育成に関心を持つ効果があったと思われます。 					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	21	放課後子ども教室推進事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策			
	施策	2-3	子育て支援の充実			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱 他			
関連計画・マニュアル	有		坂井市子ども・子育て支援事業計画・放課後子ども総合プラン			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
コミュニティセンター等で、様々な放課後子ども教室を実施し、子どもたちに安全な居場所や学習・体験活動の機会を提供する。		
【事業の概要】		
主にコミュニティセンターで、学習アドバイザーや安全管理員など、学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域の方々の協力を得て実施。各地域の実情に合わせてながら、書道や絵画、読書感想文教室など長期休暇の宿題を中心とした教室を開催したり、生け花教室、三味線教室、コーラス教室など定期的に教室を開催したりするなど、子ども達の安全な居場所の確保に努めた。		
○委託料	放課後子ども教室実施委託料 (24教室)	3,971千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■放課後子ども教室
----------	-----------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	3,971	3,976	3,937	△ 5
	人件費	2,724	2,350	2,338	374
	総事業費	6,695	6,326	6,275	369
人員	正職員	0.22 人	0.35 人	0.30 人	△ 0.13 人
	臨時職員	0.65 人	0.00 人	0.10 人	0.65 人
	人員計	0.87 人	0.35 人	0.40 人	0.52 人
財源内訳	国県支出金	2,427	2,484	2,415	△ 57
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,268	3,842	3,860	426

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	事業実施教室	教室	目標	25	25	25	25	25
			実績			24	24	25
			達成率(%)	0.0	0.0	96.0	96.0	100.0
指標の説明		事業実施教室数						
指標	子どもの参加者数	人	目標	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500
			実績			11,148	16,345	14,180
			達成率(%)	0.0	0.0	63.7	93.4	81.0
指標の説明		子どもの参加者数						
指標	実施回数	回	目標	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
			実績			1,032	1,165	970
			達成率(%)	0.0	0.0	82.6	93.2	77.6
指標の説明		実施回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		実施教室数は、前年度より1教室減少したが、子どもの参加者数、実施回数はともに上回っています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			児童クラブとの連携をコスト、効率の面から進めていく必要がありますが、担当課が違うため、連携していくことが課題です。
これまでの見直しや改善等の実績	児童クラブ・放課後子供教室の連携をメリット・デメリット含めて、それぞれ担当から周知しました。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	児童クラブとの連携をすすめていきます。教室担当者の実務的な研修をし、企画・広報等の能力向上を図っていく方向です。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-3	子育て支援の充実
	基本施策	4	放課後児童クラブの充実			
実施事業名(小事業)	放課後子ども教室事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>注) 総合戦略に基づき実施する事業については、中長期的に地方創生に資するノウハウや知見を蓄積することも目的となっています。ノウハウとは、事業の企画・計画→効果・結果の間に得た気づきのことです。人口減少対策や地方創生に向けて、具体的な事業効果と効果をもとめるために重要であると気付いたことについて、実施事業ごとに記載願います。</p> <p>●児童が放課後等における多様な体験・活動を行うことができるようにします。</p> <p>1 児童の放課後等の居場所づくりとして平日に習字や宿題等の子ども教室を開催しています。</p> <p>現在、子育て支援課では、低学年の児童クラブを実施しており、6年生まで受け入れ出来るクラブは一部となっています。そのため、児童クラブに入っていない高学年の 安心安全な居場所として子ども教室を実施することは、重要と考えられますが、コミュニティセンター職員が企画実施しているため、負担が多いという問題が考えられます。 また、講師の謝礼も些少であるため、確保することが難しいという問題もあります。</p>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	26	合宿通学事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策			
	施策	2-3	子育て支援の充実			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		坂井市合宿通学事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 コミュニティセンター等の公共施設に3泊4日（または2泊3日）で宿泊し、自分の身の回りのことはすべて自分でいながら学校に通学することにより、日常生活における家族の苦勞や、愛情の深さに気づき、感謝する気持ちを育てる。

【事業の概要】

期 間	場 所	対象者	参加人数
6月8日(木)～10日(土)	ちくちくほんぼん	兵庫小学校4年生	29名
9月28日(木)～30日(土)	ちくちくほんぼん	高椋小学校4年生	48名
10月5日(木)～7日(土)	春江中コミセン	春江小学校4年生	61名
11月8日(水)～11日(土)	三国コミセン	三国北小学校6年生	40名
合 計			178名

○委託料 合宿通学事業業務委託料 1,365千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■合宿通学
----------	-------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	1,365	986	1,312	379
	人件費	12,097	3,820	4,826	8,277
	総事業費	13,462	4,806	6,138	8,656
人員	正職員	1.62 人	0.55 人	0.65 人	1.07 人
	臨時職員	0.41 人	0.05 人	0.10 人	0.36 人
	人員計	2.03 人	0.60 人	0.75 人	1.43 人
財源内訳	国県支出金	635	242	0	393
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	12,827	4,564	6,138	8,263

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	参加者の数 (目標値は参加校の対象児童数合計)	目標		193	262	245	152	133
		実績				178	127	110
		達成率(%)		0.0	0.0	72.7	83.6	82.7
	指標の説明							
指標		目標						
		実績						
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標		目標						
		実績						
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							

指標に基づく評価
 参加は希望制としています。実施校によっては、参加率がやや低いところもありますが、平成29年度においては、4校中2校、全員参加で実施しました。活動するコミュニティセンターの施設規模という面で課題もありますが、今後も、参加を希望する児童を全て受け入れられるよう取り組んでいきます。

5.事業に対する評価

現状と課題	<p>妥当性に課題</p> <p>現在、旧町単位で1校ずつ実施しており、各校毎においては4～7年に一度になってます。保護者からは毎年実施を望むもあるが、当課の人員からは、4校実施で精一杯である為、受益の公平性という観点からも要望に応えられていないのが現状です。</p>
これまでの見直しや改善等の実績	<p>平成29年においては、前年度にオープンした「竹田農山村交流センター ちくちくぼんぼん」で初めて当事業の実施を試みました。竹田での特色ある活動が出来た一方で、地理的な面での登下校にかかる時間や、施設的な面での調理活動に制約がありました。今後は、従来のコミュニティセンターでの実績等を踏まえ、より良い事業実施に向けて内容を検討していきます。</p>

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	平成29年度に実施した「竹田農山村交流センター ちくちくぼんぼん」での合宿通学事業を踏まえ、今後の合宿通学事業の在り方、方向性などについて検討していきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-3	子育て支援の充実
	基本施策	8	地域ぐるみの次世代育成の促進			
実施事業名(小事業)	合宿通学事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>注) 総合戦略に基づき実施する事業については、中長期的に地方創生に資するノウハウや知見を蓄積することも目的となっています。ノウハウとは、事業の企画・計画→効果・結果の間に得た気づきのことです。人口減少対策や地方創生に向けて、具体的な事業効果と効果を高めるために重要であると気付いたことについて、実施事業ごとに記載願います。</p> <p>主な良い点(やり易さ)と悪い点(課題)</p> <p>①実施施設(活動場所)</p> <p>◆最寄りのコミュニティセンター 良い点 地理的に、児童の登下校にも便利であり、地域のボランティアも参加しやすい 悪い点 施設の規模により、定員(一度に実施する人数)を設定する必要有り</p> <p>◆竹田農山村交流センター ちくちくぼんぼん 良い点 竹田での特色ある活動ができる。宿泊施設である為、準備する上で負担が少なく済む 悪い点 地理的に、通学が難しい(通える学校が限られている)調理活動に制限有り(火を使う活動が屋外に限定される)</p> <p>②参加児童(学年)</p> <p>◆4年生 良い点 「自然教室(5年)」や「修学旅行(6年)」前に、集団で宿泊を伴う活動が、地域のボランティア等の十分なサポート体制が整った環境で実施出来るので安心である 悪い点 活動の中で、自ら考えて行動できるようにするには、4年生では、まだ力量が乏しいと危惧される 調理活動などは、学校でも未だ習っていない活動に取り組むことになるため、難しい面有り</p> <p>◆5、6年生 良い点 協調性や判断力、行動力など、本事業の意図に繋がる活動が自ら出来るような児童が多い 地域のボランティアの方とも自然とコミュニケーションを図りながら、活動が進んでいく 悪い点 高学年ともなると、スケジュール的にスポーツ少年団や習い事などが忙しく、参加できない児童も出てくる</p> <p>「合宿」＝「お泊り会」という単純なものではなく、子ども達に日常生活における家族への感謝の思いや地域との繋がりを感じてもらえるような活動として、今後も継続していきます。</p>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大	事業	001	青少年健全育成事業	中	事業	31	坂井・延岡ジュニア交流事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-2	Uターンの促進		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名所旧跡を学習することを通じて人的交流を図っていく中で、将来的に両市の縁を強めていくことを目的とする。

【事業の概要】
1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。今年度は延岡市を訪問し、延岡市の小学生と交流を行った。

〈期 間〉 平成29年8月21日（月）～23日（水） 3日間
 〈参加者〉 坂井市内小学5・6年生 20名、市P連2名、事務局2名
 延岡市内小学5・6年生 15名、市P連2名、事務局4名

○報償費 協力者謝礼 19千円
 ○需用費 消耗品費 47千円
 ○役務費 返信用切手 2千円
 ○委託料 事業運営委託料 1,246千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■坂井・延岡ジュニア交流
----------	--------------

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	1,314	460	1,208	854
	人件費	2,242	2,014	4,692	228
	総事業費	3,556	2,474	5,900	1,082
人員	正職員	0.32 人	0.30 人	0.66 人	0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.32 人	0.30 人	0.66 人	0.02 人
財源内訳	国県支出金	406	0	0	406
	その他特定財源	500	0	500	500
	一般財源	2,650	2,474	5,400	176

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	参加者満足度	%	目標	100	100	100	100	100
			実績			100	100	100
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
独自指標	指標の説明 交流後アンケート参加者児童の満足度							
指標	参加者の事前研修の回数	回	目標	3	2	2	2	2
			実績			3	2	2
			達成率(%)	0.0	0.0	150.0	100.0	100.0
独自指標	指標の説明 交流に向けての事前研修の実施回数							
指標	交流隊申込者数	人	目標	20	20	20	20	20
			実績			28	28	42
			達成率(%)	0.0	0.0	140.0	140.0	210.0
独自指標	指標の説明 定員20人に対する坂井・延岡ジュニア交流隊応募者数							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標に基づく評価	宮崎県延岡市を訪問する年であったため、事前研修を充実させました。日程の都合もあり、前回の訪問時より応募者数は減少していますが、参加者満足度は高く、姉妹都市間の人的交流に大きく貢献している事業であると考えられます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	2年連続で参加して延岡市児童との友情を深める児童も多く、事業後も継続して交流を続けているように見受けられます。竹田農山村交流センターの開館により、これまで以上に坂井市独自の文化・自然を体験することが可能になりました。延岡市を訪問する年には坂井市との共通点や相違点を感じられる、坂井市で過ごす年には坂井市の良さを外部に発信できる事業として、今後も有意義な交流事業として継続してまいります。		
	交流の前の研修会を充実させ、坂井市の小学生代表として、積極的に延岡市児童と交流できるように働きかけています。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	坂井市PTA連合会との連携を深め、坂井市教育振興基本計画に基づき事業を継続していきます。児童にとって単なる旅行ではなく坂井市への理解を深めるきっかけとなるよう、より充実した研修内容や交流内容を検討していきます。平成31年度には交流10年目を迎えるため、宮崎県延岡市と今後の交流の方向性について協議を行いたいと考えています。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進
	基本施策		青少年へのふるさと意識の醸成			
実施事業名(小事業)	坂井・延岡ジュニア交流事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>注) 総合戦略に基づき実施する事業については、中長期的に地方創生に資するノウハウや知見を蓄積することも目的となっています。ノウハウとは、事業の企画・計画→効果・結果の間で得た気づきのことです。人口減少対策や地方創生に向けて、具体的な事業効果と効果を高めるために重要であると気付いたことについて、実施事業ごとに記載願います。</p> <p>●次代を担う青少年の郷土愛の醸成</p> <p>1 ふるさと坂井の再発見 延岡市役所における坂井市紹介について、坂井市のどのようなことを紹介したいか、参加児童の意見を取り入れました。東尋坊、丸岡城、越前ガコといった全国的に有名なもののほか、「一筆啓上賞」「まるおか子ども歌舞伎」など他市では見られない事業が挙がりました。すべての児童から、なぜその場所・こと・物を紹介したいのかを理由つきで回答があり、調べ学習を通して、坂井市のことを改めて知る良い機会となりました。今後も、坂井市児童の代表として、坂井市の魅力を外部へ発信できるよう坂井市についての興味関心を高める機会を設けていきます。</p> <p>2 旧町単位を脱した市内児童交流 平成29年度は市内11小学校の児童が隊員として参加し、普段接することの少ない他地区の児童と交流する機会を提供できました。上記の坂井市に関する調べ学習について、自分の住む地域にとどまらず、市内全域から坂井市の魅力を発見しようとする児童が多く見受けられました。また、市内の児童間でも、交流後に手紙のやり取り等で交友を深めている様子を例年伝え聞いているが、平成30年度以降は、一時的な交友に終わらないような工夫をしていきます。</p>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大	事業	051	心の家庭教育支援事業	中	事業	01	心の家庭教育支援事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 家庭の教育力の向上を図るため、現在子育て中の親が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成を促進する。

【事業の概要】

- 子育て講座
 - 小学校を中心に多くの親が集まる機会（就学時検診時等）を活用して、家庭教育についての学習機会を提供した。（2校）
- 家庭教育支援チーム
 - 元教員、元保育士・子育て経験者などで坂井市家庭教育支援チームを結成し、小学生などの子どもを持つ親(家庭)の心の教育と支援を行った。
- 広報誌の発行
 - 子育てに関する情報やアドバイスなどを掲載した広報誌「ほやほや」を年5回発行した。

○報償費	1,107千円
子育て講座講師謝礼	20千円
家庭教育支援チーム員手当（33名）	1,087千円
○需用費	65千円
消耗品費	59千円
食糧費	6千円
○役務費	26千円
家庭教育支援チーム員傷害保険料	26千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	1,198	1,076	1,108	122
	人件費	2,945	1,806	2,133	1,139
	総事業費	4,143	2,882	3,241	1,261
人員	正職員	0.21 人	0.25 人	0.30 人	△ 0.04 人
	臨時職員	0.81 人	0.05 人	0.00 人	0.76 人
	人員計	1.02 人	0.30 人	0.30 人	0.72 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,143	2,882	3,241	1,261

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	広報誌の発行回数	目標	5	5	5	4	4
			実績			5	5	5
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	125.0	125.0
指標の説明		広報誌「ほやほや」の発行回数						
指標	独自指標	家庭学習に関する学習・情報交換の機会を提供（子育て講演会・懇談会）	目標	19	19	19	19	19
			実績			12	18	12
			達成率(%)	0.0	0.0	63.2	94.7	63.2
指標の説明								
指標	独自指標	年間の子ども相談室の開催数（一地区あたり平均値）	目標	48	48	48	48	48
			実績			67	61	50
			達成率(%)	0.0	0.0	139.6	127.1	104.2
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	子育て講演会の実施校が年々減ってきているため、今後も年度始めから学校への周知を行っていきます。一方、年間の子ども相談会の開催数は年々増加しており、今後も継続した支援を目指します。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	保護者相談会の参加者が少ないのが現状です。家庭教育支援という活動を保護者へPRすることが課題だと考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績	就学児健康診断時の保護者相談会を通常子ども相談で訪問している学校だけではなく、全校で実施しました。また、平成29年度では、新たにコミュニティセンターでのコミセン講座(親子参加型)での相談会を試みました。(相談者は0人)		

6.今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性	
目標年度	平成30年度	目標年度	
方向性の説明	継続 保護者が参加する学校行事を利用して、PRや相談会を行うようにしていきます。また、今後も、学校以外でも、親子が集うような場所(コミュニティセンターなど)での相談会の開催に努めて、継続していきます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	06	青少年愛護センター費
大	事業	001	愛護センター事業	中	事業	01	愛護センター事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市青少年愛護センター条例、同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を防止することによって、青少年の健全育成を図る。		
【事業の概要】		
○賃金	愛護センター職員賃金	7,211千円
○報償費	一般補導員手当	1,116千円
○需用費		804千円
	消耗品費	243千円
	燃料費	319千円
	食糧費	49千円
	印刷製本費	70千円
	修繕料	123千円
○役務費		214千円
	通信運搬費	131千円
	手数料	29千円
	自動車保険料	54千円
○委託料		239千円
	エンゼルロード警備保障委託	188千円
	コピー機保守点検委託	51千円
○使用料及び賃借料		162千円
	コピー機リース料等	123千円
	電話賃借料	32千円
	有料道路通行料	7千円
○負担金	全国青少年愛護センター連絡協議会負担金	14千円
○公課費	自動車重量税	8千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	2,557	3,336	2,482	△ 779
	人件費	1,072	17,968	711	△ 16,896
	総事業費	3,629	21,304	3,193	△ 17,675
人員	正職員	0.14 人	1.15 人	0.10 人	△ 1.01 人
	臨時職員	0.05 人	4.00 人	0.00 人	△ 3.95 人
	人員計	0.19 人	5.15 人	0.10 人	△ 4.96 人
財源内訳	国県支出金	383	384	389	△ 1
	その他特定財源	0	1,090	0	△ 1,090
	一般財源	3,246	19,830	2,804	△ 16,584

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	少年等相談件数	件	目標			150	150	150
			実績			23	119	81
		達成率(%)	0.0	0.0	15.3	79.3	54.0	
指標	指標の説明 電話、来訪併せた少年からの相談件数							
指標	白いポスト回収点数	点	目標			1,000	1,000	1,000
			実績			550	472	1,631
		達成率(%)	0.0	0.0	55.0	47.2	163.1	
指標	指標の説明 市内に設置した白いポストで回収した有害図書等の数							
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	相談件数に関して、平成28年度までは、話相手程度で済んだ軽微な案件も含め全ての相談件数としておりましたが、平成29年度の23件は、相談記録簿に記載の件数としました。今後も、相談窓口の存在そのものを広く周知していきます。白いポストは、設置場所によっては、有害図書の回収数に差はありますが、今後も有効な場所で引き続き実施していきたいと思っております。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題			青少年の健全な育成のための活動内容には、地道なものがあり、すぐさま結果にあらわ得るものではない難しさがあるが、継続していく必要のある事業だと考えます。
これまでの見直しや改善等の実績	今年度も一般補導員との協働により各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施した。今後もさらに各関係機関と連携した補導体制の充実を図っていきます。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	青少年を取り巻く環境に考慮し、事業を継続していきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	051	スポーツ推進委員運営事業			中事業	01	スポーツ推進委員運営事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興			生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	スポーツ振興法				
根拠例規	有	坂井市スポーツ推進委員に関する規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力を行ない、市のスポーツ振興を図る。地域のスポーツの推進役として市民のスポーツニーズを把握し、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行なうことが出来るようサポートする。

【事業の概要】
 地域のスポーツの推進役として地域住民のスポーツニーズを把握し必要な取り組みを行なった。また、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行なうことが出来るようサポートした。

- 派遣指導（マリン体操の普及推進、出前ニュースポーツ講座）23回/年
- スポーツイベントの開催 ニュースポーツ教室 年16回/延べ431人
 ニュースポーツ大会 23人
- 各種大会への協力 坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他
- 会議等の開催 全体会2回、部会等21回、委員研修3回

○報酬 スポーツ推進員報酬（@32千円×44人） 1,408千円
 ○旅費 費用弁償 188千円
 全国スポーツ推進委員研究協議会（茨城県つくば市）
 北陸地区スポーツ推進委員研修会（富山県射水市）

○需用費 定期刊行物購読料・啓発用消耗品費 53千円
 ○役務費 傷害保険料 80千円
 ○使用料及び賃借料 7千円
 車両借上料・有料道路通行料

○負担金 会議・研修会参加負担金 177千円
 県スポーツ推進委員協議会負担金・講習会参加負担金

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	1,913	2,689	2,378	△ 776
	人件費	6,517	3,021	2,915	3,496
	総事業費	8,430	5,710	5,293	2,720
人員	正職員	0.93 人	0.45 人	0.41 人	0.48 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.93 人	0.45 人	0.41 人	0.48 人
財源内訳	国県支出金	10	0	0	10
	その他特定財源	63	57	0	6
	一般財源	8,357	5,653	5,293	2,704

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
独自指標	スポーツ推進委員派遣指導 依頼回数	目標		25	25	25	25	25
		実績				25	29	31
		達成率(%)		0.0	0.0	100.0	116.0	124.0
指標の説明		スポーツ推進委員派遣指導依頼回数						
独自指標	研修回数	目標		6	6	6	6	6
		実績				9	9	10
		達成率(%)		0.0	0.0	150.0	150.0	166.7
指標の説明		研修回数						
独自指標	会議回数	目標		20	20	25	25	25
		実績				21	25	25
		達成率(%)		0.0	0.0	84.0	100.0	100.0
指標の説明		会議回数						
指標		目標						
		実績						
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	派遣指導依頼については、目標値と同程度の派遣依頼数がある（国体プレ大会を含む）。研修回数については、目標値を上回る研修がある。会議に関しては、今後、少し回数を減らしつつも、今後の方針等を決めていくのに必要程度の回数は必要であると考えます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	スポレッシュ教室（ニュースポーツ教室）やウォーキング・ウォークラリー大会などを開催しています。また、スポーツイベントへの協力を行っています。スポーツ活動の推進のため継続していく必要のある事業と考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	市民を対象に、運動習慣づくりのための「スポレッシュ教室（ニュースポーツ教室）」を定期的で開催するほか、健康増進のためのウォーキング・ウォークラリー大会などを開催していきます。市民のニーズを踏まえ参加しやすいスポーツを推進し、坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、活動を取り組んでいきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名（小事業）					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大	事業	101	保健体育事業	中	事業	01	保健体育事務事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コ ス ト	事業費	493	2,385	97	△ 1,892
	人件費	2,242	3,021	711	△ 779
	総事業費	2,735	5,406	808	△ 2,671
人 員	正職員	0.32 人	0.45 人	0.10 人	△ 0.13 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.32 人	0.45 人	0.10 人	△ 0.13 人
財 源 内 訳	国県支出金	149	0	0	149
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,586	5,406	808	△ 2,820

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。スポーツ振興審議会では、スポーツ推進に関する重要事項について調査及び審議を通して建議を行う。 また、各種協議会に対し負担金助成を行う。	
【事業の概要】	
○旅費	特別旅費 92千円 (東京オリンピック事前キャンプ誘致活動)
○需用費	印刷製本費 298千円 (東京オリンピック事前キャンプ誘致パンフレット)
○負担金	103千円
	・県公立武道館協議会負担金 4千円
	・海外援助車輛陸送負担金 95千円
	・体育施設協会負担金 4千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指 標	各種協議会負担金助成額	円	目標		8,000	8,000	8,000	8,000
			実績			8,000	8,000	8,000
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	オリンピック・パラリンピック東京大会の事前キャンプ誘致活動として、パンフレットの製作を行いました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題			スポーツ振興計画の見直しについては、教育振興基本計画が延長されたことによりスポーツ振興審議会の開催を見送っています。2020年に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会の事前キャンプ地を誘致活動を進めていく必要があると考えます。
これまでの見直しや改善等の実績				

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組めます。2020年に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会の事前キャンプ地を誘致活動を進めていきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大	事業	151	国体推進事業	中	事業	01	国体推進事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	スポーツ振興法、国民体育大会開催基準要項			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コ ス ト	事業費	31,406	1,392,658	261,096	△ 1,361,252
	人件費	5,115	7,720	1,066	△ 2,605
	総事業費	36,521	1,400,378	262,162	△ 1,363,857
人 員	正職員	0.73 人	1.15 人	0.15 人	△ 0.42 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.73 人	1.15 人	0.15 人	△ 0.42 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	224,178	0	△ 224,178
	その他特定財源	5,067	945,100	0	△ 940,033
	一般財源	31,454	231,100	262,162	△ 199,646

2.事業の目的・概要

【事業の目的】

平成30年に福井県で開催される福井しあわせ元気国体において、坂井市では、サッカー競技とバレーボール競技が開催されるが、本市を訪れる選手・役員をはじめ応援観戦される人々が十分満足する魅力あふれる大会となるよう、開催準備を円滑に進める。

【事業の概要】

- 体育施設整備工事費 9,023千円
 - ・丸岡スポーツランドサッカー場電光掲示板設置工事 8,834千円
 - ・高椋小学校体育館バレーボール床金具改修工事 189千円
- 施設用備品購入費 22,383千円
 - ・バレーボール競技備品購入（バレーボール用支柱他）3,281千円
 - ・サッカー競技備品購入（スコアボード他）19,102千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指 標	独自 指標	施設	目標		0	0	4	2
			実績			0	4	2
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	平成30年の福井しあわせ元気国体で使用する施設の大規模改修については、平成28年度中までにすべて完了し、本年度は設備と備品の整備を行いました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性		完了	中長期的な方向性	
目標年度	平成30年度		目標年度	
方向性の説明	平成30年度の福井しあわせ元気国体開催をもって、国体推進事業は完了する予定です。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名(小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大	事業	001	スポーツ振興事業	中	事業	01	スポーツ大会運営事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。

【事業の概要】

坂井市古城マラソン大会	6月4日（日）
ゲストランナー 高橋 千恵美	
参加者数 3,438人	
坂井市民スポーツ祭	10月9日（月・祝）
参加者数3,614人	
スポーツフェスタ・各競技大会・教室	
○需用費	105千円
消耗品費（大会・行事務消耗品費）	62千円
食糧費（行事等賄）	43千円
○役務費 傷害保険料	57千円
○委託料 スポーツ大会委託料	4,800千円
坂井市民スポーツ祭	
（公財）坂井市体育協会	2,300千円
坂井市古城マラソン大会	
（公財）坂井市体育協会	2,500千円
○補助金	398千円
坂井市古城カップサッカー大会補助金	298千円
坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金	100千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	5,361	9,373	5,899	△ 4,012
	人件費	1,121	2,014	2,346	△ 893
	総事業費	6,482	11,387	8,245	△ 4,905
人員	正職員	0.16 人	0.30 人	0.33 人	△ 0.14 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.16 人	0.30 人	0.33 人	△ 0.14 人
財源内訳	国県支出金	14	12	0	2
	その他特定財源	0	2,806	2,197	△ 2,806
	一般財源	6,468	8,569	6,048	△ 2,101

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数		目標	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
			実績			3,614	4,830	3,465
			達成率(%)	0.0	0.0	80.3	107.3	77.0
指標の説明		坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数						
指標 独自指標	坂井市古城マラソン申込者数		目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績			3,656	4,725	3,621
			達成率(%)	0.0	0.0	91.4	118.1	90.5
指標の説明		坂井市古城マラソン申込者数						
指標 独自指標	スポーツ推進委員会主管教室・大会参加者数		目標	150	150	150	150	150
			実績			129	181	152
			達成率(%)	0.0	0.0	86.0	120.7	101.3
指標の説明		スポーツ推進委員会主管教室・大会参加者数						
指標 独自指標	坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数		目標	25	25	25	25	25
			実績			24	26	21
			達成率(%)	0.0	0.0	96.0	104.0	84.0
指標の説明		坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数						
指標に基づく評価	坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数、坂井市古城マラソン申込者数、スポーツ推進委員会主管大会参加者数、坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数目標値を下回ったが、多くの参加・申し込み・競技数を得ています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。		

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度	平成30年度	目標年度	平成31年度
方向性の説明	坂井市スポーツ協会、スポーツ推進委員と連携しながら取り組んでいきます。坂井市スポーツ振興計画に基づき取り組んでいきます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大	事業	001	スポーツ振興事業	中	事業	06	スポーツ振興事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市スポーツ大会出場激励金支給要綱		
関連計画・マニュアル	有		坂井市スポーツ振興基本計画		

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コ ス ト	事業費	37,058	36,022	38,305	1,036
	人件費	3,153	4,028	0	△ 875
	総事業費	40,211	40,050	38,305	161
人 員	正職員	0.45 人	0.60 人	0.00 人	△ 0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.45 人	0.60 人	0.00 人	△ 0.15 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	76	0	△ 76
	その他特定財源	0	253	0	△ 253
	一般財源	40,211	39,721	38,305	490

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。また、予選を勝抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。

【事業の概要】

○報償費	全国スポーツ大会出場激励金	3,999千円
	・国体	41名
	・全国高等学校総合体育大会	76名
	・国際大会	14名
	・その他全国大会	293名
	計	424名（78大会）
○需用費		8千円
	事務用消耗品費	8千円
○委託料		98千円
	看板製作委託料	98千円
○負担金	クロカンマラソン大会負担金	1,200千円
○補助金		31,780千円
	坂井市体育協会補助金	26,780千円
	坂井市スポーツ少年団補助金	4,000千円
	地域密着型トップ・スपोर्ट・チーム支援事業補助金	1,000千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	激励金支出人数		目標	350	350	350	350	350
			実績			424	396	402
			達成率(%)	0.0	0.0	121.1	113.1	114.9
指標の説明								
独自 指標	体育協会加盟団体開催事業数		目標			110	110	110
			実績			126	128	122
			達成率(%)	0.0	0.0	114.5	116.4	110.9
指標の説明		体育協会加盟団体開催事業数						
指標	国際大会出場者数		目標	10	10	10	10	10
			実績			14	10	24
			達成率(%)	0.0	0.0	140.0	100.0	240.0
指標の説明								
指標	国民体育大会出場数		目標	35	35	35	35	35
			実績			41	35	28
			達成率(%)	0.0	0.0	117.1	100.0	80.0
指標の説明								
指標に基づく評価	激励金支出人数、体育協会加盟団体開催事業数、国際大会出場者数、国民体育大会出場数ともに目標値を達成しています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			生涯スポーツの振興、さらなる競技力向上に努めていきます。
これまでの見直しや改善等の実績	平成30年度より激励金交付申請書が一般用、中学高校生用2種類あったのをわかりやすいように1つにしました。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	スポーツ協会やスポーツ推進委員会と連携・協力し、生涯スポーツの振興に努めていきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名(小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大	事業	001	体育施設管理事業	中	事業	01	体育施設管理事業		
小	事業	01	体育施設維持管理事業	03	体育施設整備事業			他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	地方自治法第244条の2第3項			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例及び同施行規則ほか			
関連計画・マニュアル	有	指定管理者モニタリングマニュアル			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 スポーツ環境の整備充実のため、体育施設の適切な維持管理及び運営を促進し、施設の安全性の確保とスポーツ振興及び利用の推進を図る。

【事業の概要】

- ◆体育施設維持管理事業
 - 旅費 特別旅費 88千円
 - 需用費 修繕料（体育施設修繕費） 199千円
 - 役務費 手数料・火災保険料（公有建物共済分担金） 720千円
 - 委託料 体育施設指定管理委託料、学校開放事業等委託 229,329千円
 - 使用料及び賃借料 土地借上料、有料道路通行料 29,252千円
 - 備品購入費 丸岡フィットネスセンター更衣室ロッカー購入 1,393千円
 - 負担金、補助及び交付金 9,431千円
 - ・指定管理者修繕負担金（4件） 9,411千円
 - ・B&G地域海洋センター連絡協議会負担金 20千円
 - 補償、補填及び賠償金 体育施設周辺補償費 252千円
- ◆体育施設整備事業
 - 需用費 印紙代 44千円
 - 工事請負費 丸岡スポーツランド駐車場整備工事 50,566千円
 - 公有財産購入費 38,784千円
 - 丸岡スポーツランド駐車場整備に係る土地購入
 - 補償、補填及び賠償金 85,960千円
 - 丸岡スポーツランド駐車場整備に係る移転補償

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	446,018	677,274	79,500	△ 231,256
	人件費	20,741	4,699	0	16,042
	総事業費	466,759	681,973	79,500	△ 215,214
人員	正職員	2.96 人	0.70 人	0.00 人	2.26 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	2.96 人	0.70 人	0.00 人	2.26 人
財源内訳	国県支出金	0	0	1,519	0
	その他特定財源	173,210	289,520	7,226	△ 116,310
	一般財源	293,549	392,453	70,755	△ 98,904

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	学校体育施設利用者数	人	目標			81,000	81,000	80,000
			実績			73,608	95,723	80,264
			達成率(%)		0.0	0.0	90.9	118.2
指標の説明		坂井市内学校体育施設の利用者数						
指標	坂井市体育施設利用者数	人	目標		607,600	658,000	474,000	556,620
			実績			572,296	487,224	589,674
			達成率(%)		0.0	0.0	87.0	102.8
指標の説明		坂井市体育施設（29施設）の利用者数						
指標	坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター利用者数	人	目標		164,400	162,950	162,770	158,800
			実績			157,719	166,223	164,763
			達成率(%)		0.0	0.0	96.8	102.1
指標の説明		施設利用者数（一般利用者と会員利用者の合計）						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		平成29年度は国体プレ大会や2月の大雪など、施設を利用できない期間が長く、目標値を達成できませんでした。						

5.事業に対する評価

	効率性に課題	有効性に課題	
現状と課題	建設後30年以上が経過した施設が多く、全体的に老朽化が顕著になっています。また、市内に類似施設が多く立地しているため、修繕だけでなく統廃合も視野に入れた検討を行う必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成30年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター、坂井市体育施設の2区分について、平成30年度末で指定管理期間が終了するため、平成30年度中に指定管理者の評価・選定を行います。また平成32年度に向けて、坂井市公共施設等総合管理計画の個別策定および、体育施設の統廃合についても検討を重ねていきます。プール検討委員会にて市内プールの利用方法も検討していきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名（小事業）						
事業で得られたノウハウや気づき等						